

令和6年度 第2回 学校運営協議会

1 日 時 令和6年10月23日(水) 15時30分～16時30分

2 場 所 本校GU教室

3 出席者(運営協議会委員)

松宮 新吾(追手門学院大学教授)

河原林 昌樹(弁護士)

鈴木 貴雄(門真市立第四中学校長)

高山 拓也(門真市教育委員会学校教育課長)

三村 泰久(門真市立水桜小学校長 欠席)

猪井 美由紀(本校PTA会長 欠席)

4 出席者(学校)

校長、教頭、首席、各分掌、各学年

5 議題等(次第順)

【審議事項】

(1) 令和6年度学校経営計画及び学校評価の進捗状況について【承認】

(2) その他

【報告事項】

(1) 各学年・分掌より

(2) 教科書の採択について

(3) その他

6 意見・質問事項等(概要)

○授業見学後の感想

- ・情報機器の発展に伴い、生徒の学びも変わってきている。
- ・フィールドの授業は、生徒が関心を持って授業に取り組んでおり、先生も工夫をこらしている。生徒がもっと活動できるような働きかけをして、ゆだねるとよくなるのでは。
- ・中学校では、先生が生徒をどう動かしているかではなく、生徒がどのような学びを行っているかを中心にとらえ研究授業を行っている。
- ・授業中にタブレットを使用して、何が出来るのかという視点で、フィールドの授業と結びつけばよりよい学びになっていく。探究の授業について具体的な取り組みのイメージはあるか。
- ・情報機器や設備等について強調するなど、もう少し小中学校と連携をとって、宣伝等を行うべき。

○その他

- ・フィールド、授業など様々な機会に、成長の場を用意し生徒を育てている学校の姿勢がよくわかった。今後も生徒中心に活躍する場を提供することを期待している。
- ・社会との接点があり、さすが高校。良い学校というのがよく見える。
- ・個別最適化、正解のない授業など、一人ひとりに考えさせ、イメージから考えを深めていく様々な活動につなげることが大事。